

Shining Achievers

こんなことをやっています、ICT活用

今、1年生の情報(ICT)の学種では、micro:bitに取り組んでいます。micro:bitとは、イギリス生まれの小さなコンピュータで、見た目はただの基盤ですが、プログラムすることにより、音を鳴らしたり、キャラクタをLEDで表示したり、センサーを使って様々な機器を制御したりすることができます。今までは、Tynkerやscratchなどでプログラミング的思考をiPad上で学んできましたが、実際にプログラムして、micro:bitがキャラクタを表示したり、音を鳴らしたりすると、子どもたちは大喜び。早速、お手本のプログラムを自分流に改造する子もいました。

瀬戸SOLAN小学校の教育の柱の一つに「ICT」があります。1年生からiPadを教科学習やプロジェクト、探求学習に活用しています。小学1年生がiPadを活用して学習する際には、以下のことに配慮しています。

- ・タッチ操作や文字入力などの基本操作を丁寧に指導する。
- ・一人ひとりの学習状況や興味・関心に合わせて、適切な教材やアプリを提供する。
- ・教師が個別にサポートする時間を確保する。

iPadを活用した学習により、小学1年生は以下のような学習効果を得ています。

- ・タッチ操作や文字入力などの基本操作を身につけ、ICT機器を活用した学習に慣れることができます。
- ・一人ひとりの学習ペースに合わせて、自分のペースで学習することができます。
- ・自分の考えや表現を、ICT機器を活用して、より効果的に伝えることができます。

課題も、いろいろと見えてきました。iPadから、離れなくなる子もいます。また、使い方のマナーやモラルにも、問題が出てきました。これらは予想されたことです。そこで基本操作だけでなく、あわせて情報モラルや情報セキュリティ、セルフコントロール、デジタルシティズンシップにも、適宜取り組んでいます。

なお、瀬戸SOLAN小学校では、まなポートなどを通して、保護者の方々が、お子様のiPad学習状況を把握できる取り組みを行っています。

今後も、保護者の皆様と連携しながら、小学1年生がiPadを活用して、効果的に学習できるように取り組んでまいります。